

令和元年3月31日

軽井沢町議会
議長 佐藤敏明 様

押金 洋仁

研修報告書

1 視察日程

令和元年7月5日（金）午後3時～午後5時

2 視察先及び目的

長野市 長野県庁 県議会棟3階第2特別会議室

野外保育推進議員連盟の設立に向けて 第2回会議 出席

4. 会議項目

(1)野外保育連盟の方々との意見交換

理事 依田敬子氏（安曇野市 くじら雲）
小林成親氏（伊那市 はらぺこ）

(2)議連設立に向けての具体的日程の検討

(3) 設立趣旨・規約をどうつくるか

(4)役員案について （代表・副代表・会計・事務局）

(5)会費について

◎考察

軽井沢町内に「森の幼稚園 ぴっぴ」があり、園舎の伴わない野外だけの保育の独自の可能性を探っている。長野県としても「信州やまほいく」という取り組みをすすめており、認定制度を設けているが、こうした認可外保育園の単独の活動だけでは、周知と理解の広がりにもどうしても、限界があると思われる。

今回はそうした同じ思いを抱える、長野県内の県議、市町村議が集い、議員連盟を設立することで、連携と運動の広がりを目指して動きだそうという活動の一環で会議がもたれた。

冒頭、野外保育連盟の方々との意見交換から、出席されたそれぞれの園の取り組みと

課題感が語られ、やまほいくへの理解と支援が訴えられた。その後、出席自治体それぞれから、野外保育への所感の発表があったが、多くの議員から野外保育から得られる利点と効果、についての客観的データが求められた。現在のところ、そこまでのデータがあるわけではないが、引き続き関係者との懇談を重ねながら、議員なり見極めを見出していくということでは異論はなかった。

また、既存の認可保育園でも野外保育を積極的に、また部分的に取り入れるなどしていくことも、すぐに始められることではないか、という感触も得た。

今回の会議出席によりなお一層感じたのは、野外保育園といっても一様ではなく、地域によりその実情にはかなりの幅があるということであった。今後は他地域の園の取り組みを知る必要性を感じた会議であった。